

NEWS RELEASE

2019.3.6

新作インスタレーションと初の油絵作品を含む約 10 点を展示

東芋「透明な歪み」

2019年4月26日(金)から開催



ポーラ ミュージアム アネックス(東京・中央区銀座)では、2011年ヴェネチア・ビエンナーレ日本館代表作家に選ばれ、近年では現代舞踊や伝統芸能とのコラボレーションなど、様々な活動を行う東芋の展覧会「透明な歪み」を2019年4月26日(金)から6月2日(日)まで開催致します。

東芋は2016年シアトル美術館で、美術館の所蔵品とそれを基に制作した映像インスタレーション作品と一緒に展示する企画を行いました。その後、それらの作品は別の展覧会でも展示され、オリジナルと自身の作品を切り離して展示したことをきっかけに、作品とオリジナルを分けることで、オリジナルに囚われない自由さや可能性が作品に出てくるのではないかと考えるようになりました。

本展では、新作アニメーション作品と、自身初の試みである油絵を含む、約10点を展示予定です。作品には全て原作が存在しますが、それはあえて公開せず、鑑賞者は自由な発想で各々違った角度で見られることを楽しんでいただければ幸いです。

|| 展覧会概要 ||

展覧会名：東芋「透明な歪み」

会 期：2019年4月26日(金) - 6月2日(日) [38日間] ※会期中無休

開館時間：11:00 - 20:00 (入場は19:30まで)

入 場 料：無料

会 場：ポーラ ミュージアム アネックス (〒104-0061 中央区銀座1-7-7 ポーラ銀座ビル3階)

アクセス：東京メトロ 銀座一丁目駅 7番出口すぐ / 東京メトロ 銀座駅 A9番出口から徒歩6分

主 催：株式会社ポーラ・オルビスホールディングス

協 力：ギャラリー小柳

U R L：<http://www.po-holdings.co.jp/m-annex/>

左：「振り向きざまの」(2018) キャンバスに油彩

右：映像インスタレーション作品「ふたり」(2016) インスタレーションショット

【リリースに関するお問い合わせ】株式会社ポーラ・オルビスホールディングス コーポレートコミュニケーション室
info-annex@po-holdings.co.jp TEL 03-3563-5540 / FAX 03-3563-5543

【読者からのお問い合わせ先】ポーラ ミュージアム アネックス TEL 03-5777-8600 (ハローダイヤル)

POLA MUSEUM ANNEX

|| 作家コメント ||

ここ数年、多く取り組んできた小説の挿絵や作品の写し。

原作からインスピレーションを受けて描く挿絵や、オリジナル作品を自分の解釈で再制作するような写しという行為によって生まれた私の作品には常に「歪み」がある。

それは、原作者と私の違いや、原作に対する誤解、私の独断的な解釈から生まれるもの。

「歪み」というのは歪んでいない正しい形と見比べなければわからない。

私の作品は原作とともにあることで、私特有の歪みを見出してもらえるはずで、だから今まで、共にあることを最もいい状態だと考えてきた。

いわば歪みは、原作と私の作品をつなげている道と言える。

今まで大切にしてきた原作との関係を絶ってみる。

歪みをできるだけ透明にし、道を遡れなくする。

そうしたら、私の作品は一本足で立っていることができるのだろうか。

今回、展示する各作品には、元々、私とは無関係な原作が存在する。

原作それぞれは、人々に愛されて歴史とともに残ってきたものや、

多くの人の目に触れられてきた偉大な小説などで、原作そのものが確固たる存在感を持つ。

原作から自身の作品への展開を隠し、歪みを見えなくする。

しかし、その歪みはそこに存在しなくなるのではなく、透明な歪みとして、確実にそこに在る。

その透明な歪みも含めて作品化することが唯一、原作から切り離せる方法であり、

その透明な歪みが他の何かと繋がる道を作って初めて、新たな作品として、

そこに立っていただけるものとなるだろう。

|| プロフィール ||

束芋 (たばいも)

現代美術作家

1975年生まれ。1999年京都造形芸術大学卒業制作としてアニメーションを用いたインスタレーション作品

「にっぽんの台所」を発表、同作品でキリン・コンテンポラリー・アワード最優秀作品賞受賞。以後2001年第1回横浜トリエンナーレを皮切りに、2011年には第54回ヴェネチア・ビエンナーレ日本館代表作家に選出される等、数々の国際展に出品、注目を集める。

主な個展に「ヨロヨロン」(2006/原美術館、東京)、「TABAIMO」(2007/カルティエ現代美術財団、パリ)、

「断面の世代」(2009/横浜美術館、2010/国立国際美術館、大阪)、「MEKURUMEKU」(2014/MCA オーストラリア、シドニー)、「UtsutsushiUtsushi」(2016/シアトル美術館、シアトル)、「Her Room」(2016/サンノゼ現代美術館 / サンノゼ、アメリカ)、「Hammer Projects: Tabaimo」(2017/ハマー美術館、ロサンゼルス)など。

近年は舞台でのコラボレーションも展開、2012年浜離宮朝日ホール20周年記念コンサートでピアニスト、パスカル・ロジェとの音楽と映像のコラボレーション、2013年に杉本博司脚本・演出の人形浄瑠璃『曾根崎心中』へのアニメーション参画、2016年には自身が構成・演出を手がけた映像芝居「錆からでた実」を発表。同作品は2020年2月よりアメリカツアーを予定。長野県在住。